

# アジアの友

The Asia-no Tomo

No. 560

大学の国際化に向けたチャレンジ  
帝京大学八王子キャンパスの国際交流センター  
OUCHI COMMONS

ベトナム ドンズー日本語学校  
ー変化する日本語学習需要への対応ー



# 「私費外国人留学生のための大学入学案内」 2025年度版が完成！



- **学部、学科インデックスで行きたい大学がすぐ見つかる**
- **選考方法、試験日程、授業料、募集定員などの詳細情報を掲載**
- **各大学が指定する日本留学試験の科目一覧あり**

全国の書店、Amazon、凡人社のWEBサイトでお求めになれます。

＜編集発行＞ 公益財団法人アジア学生文化協会 ＜発売＞ 株式会社 凡人社

＜定価＞ 2,530円（税込）

# アジアの友

2024年10-12月号 第560号

## 目次

	<b>特集</b>
2	大学の国際化に向けたチャレンジ 帝京大学八王子キャンパスの国際交流センター OUCHI COMMONS
	<b>情報</b>
8	大学入試情報を求めている留学生、日本語学校教員の皆さんへ 外国人留学生向け日本留学情報サイト JAPAN STUDY SUPPORT (JPSS) のご案内
	<b>海外の日本語教育機関</b>
13	ベトナム ドンズー日本語学校 ー変化する日本語学習需要への対応ー
	<b>海外の日本語教育機関と日本語教師</b>
18	Bach Viet 短期大学 外国語学部日本語学科 ヴォ ティ バオ アン先生 ～ベトナム人教師が育てるミャンマー人日本語人材～
	<b>新星学寮での生活</b>
23	⑩「日本人寮生に聞く新星学寮の生活」 宮崎将也さん
27	<b>BOOK REVIEW</b> 「日本語学校物語 開拓者たちのライフストーリー」
	<b>連載コラム</b>
28	泰日工業大学奮闘記 ⑤「開学時の振り返りと2024年忘年会」 水谷 光一
30	<b>知友会通信</b> 奨学金情報、イベント情報
32	<b>MEMBERS</b> 会費とご寄附のご報告

<表紙> サイゴン川からホーチミンのビル群を臨む (ベトナム)

Photo YK

# 大学の国際化に向けたチャレンジ

## 帝京大学八王子キャンパスの国際交流センター OUCHI COMMONS

本号では、大学の国際化に「Teikyo Model」を掲げ組織と支援を充実させている帝京大学八王子キャンパスを訪ね、国際化施策の中心を担ってこられた国際交流課課長の田口仁さんにお話を伺った。

◆ 帝京大学概要 10 学部 33 学科 11 研究科 **学生数** 22,400 人  
**キャンパス** 板橋キャンパス 八王子キャンパス 宇都宮キャンパス 福岡キャンパス  
 霞が関キャンパス **留学生数** 1,148 人 (32 か国・地域)



——「SHOSAI」や「CHANOMA」と“和”の雰囲気を出し出す素敵な施設「OUCHI COMMONS」ですが、大変盛況ですね。

おかげさまで、2021年度に OUCHI COMMONS が開設されて、昼休み時間はほぼ満席です。留学生の第三の家というコンセプトが浸透しているかなと思っています。OUCHI COMMONS のロゴは、畳の四畳半を模しています。

—— OUCHI COMMONS と国際交流課が一つの空間にオープンに共存しているんですね。学生のたまり場になると、にぎやかですが、騒々しいという職員の方も出てくるのではないのでしょうか。

たしかにそういう声はあるかもしれませんが。国際交流課はオープンカウンターで一緒に仕事をしている職員からするとにぎやかだな、と(笑)。でもそれを根幹から否定する人は誰もいません。

むしろ「活気があっていいよね」と言われます(笑)。

—— 2014年から500人ほどだった留学生数を八王子キャンパスだけで1,000人にしようという目標を掲げ、この間コロナ渦も乗り越えて順調に増えていっているわけですね。もともとの大学の国際化に対するコンセプトというのは、どういうところから来ているのでしょうか。

本学は建学の精神や教育理念、教育指針の一つである“異文化理解の学習・体験する「国際性」があり、そのために様々な取り組みを行ってきました。特に「国際化ビジョン2014」の存在が大きいですね。

—— 海外への留学生派遣とか外国人留学生的の受入だけではなくて、職員とか、教員も「グローバルコンピテンシー」として国際化を標榜しているらしいですね。そういう意味では大学全体として、キャンパスを国際化するといった印象をすごく受けました。

八王子キャンパスは学内の国際化という大きなミッションがあり、外国人留学生的の受け入れを7年後に1000名にするKPIが示されました。また「外国人留学生的の受け入れに伴う環境整備」、さらに「海外大学等との連携」にも目標、すべて定量的に目標がきちんと定められているので、我々はそれらを目指すことになったということです。

—— 思い切った奨学金制度を作ってもらっていますね。1年目は全員が40%減免となりますが、これは学生募集のインセンティブとして有効だとお考えですか。

本学は2020年度から「留学生基礎力調査」を入学前・進級時に調査を行っています。目的は



田口さん

IR、タレントマネジメントに近い思考の必要性から、在籍する外国人留学生的の資質、思考、能力、日本語学習歴等のデータを蓄積しています。その中には新入生対象に「本学以外に受験した大学を教えてください。」といった設問もしています。これにより他大学との奨学金制度の差別化にもつながると考えています

—— 他の地域、たとえば欧米などについてはどうでしょう。

欧米については、イギリスやアメリカといった西側の国ばかりでなく、ハンガリーやルーマニア、ブルガリアといった東欧諸国もアプローチしています。

—— 奨学金制度では、2年目3年目になると、成績上位の10%または20%の者が対象と絞られますが、これで頑張る学生はいるのでしょうか。

留学生はがんばりますね。2年次以降の学納金



OUCHI COMMONS

に大きな違いがありますから。

—— ベトナムも一人当たりのGDPが3000ドルを超えて、成長著しいものがありますが、まだまだ経済的に厳しい学生は多いということですね。

先ほど紹介した「留学生基礎力調査」における設問に「アルバイトの有無」があります。データ上では就業率を見ると中国籍の留学生は4割弱がアルバイトをしています。ベトナムは8割以上の学生がアルバイトをやっているという結果が出ています。

—— そういったことを全てアンケート（留学生基礎力調査）で洗い出し、個別の留学生フォローにつなげていらっしゃるんですね。これだけの規模の大学で、国別、地域別の留学生対応戦略がきちんと練り上げられているというのはすばらしいと思います。

相手を知らずして課題は克服できないと考えています。学生を可視化するためにも、この「留学生基礎力調査」を徹底的に行っています。この調査と学内データを組合せ、施策を展開したいと考えています。すべての学生の個別支援とまではいきませんが、この調査で可視化された事案はフォローしたいと思います。

—— こういう調査をやって、その結果によって支援・教育サービス戦略を立てるということは、本来やらなければいけないことだと思いますがなかなか実現できないことだと思っていました。その結果がOUCHI COMMONSや日本語教育センターなど施設運営にも現れているわけですね。ではOUCHI COMMONSの国際交流アシスタントとバディ制度について教えてください。

OUCHI コンシェルジュはOUCHI COMMONSの受付業務を担当してもらっています。「留



日本語教育センター

学生の留学生による留学生のための OUCHI COMMONS」を体現してもらっています。来訪する学生の相談に応じる役目を担うメンバーが OUCHI コンシェルジュです。コンシェルジュには日本人も留学生も在籍しています。またバディ制度については入学する留学生のサポートする先輩を紹介する制度です。留学生全員にバディというわけではなく、入学時の生活総合ガイダンスでバディが必要かどうかのアンケート取っています。そこで「必要」と答えた学生には先輩学生1人つけています。日本語学校の先輩がいるとか、留学生会の仲間がいるといった人は不要でしょうから、誰も知り合いがいないとか、相談できる人がほしいという学生にバディを付けています。

——日本語学校の先生に「留学生たちが進学して良かった大学だと言っているのはどういう大学なのか」という質問すると、やはり個別対応をきちんとしてもらえるということが一つ非常に大きなポイントでした。それは規模が小さい単科大学だったりすると、留学生の面倒を一生懸命見ている職員の方がいたりしますが・・・

留学生基礎力調査で留学生が必要としている支援や勉学、生活状況など、様々なデータをとっているのは彼らの思考や状況、要望をどれだけ知るかということが重要だからで、そうでないと1000人に個別の対応は出来ません。そこで支援

が必要な学生、例えば就職を希望している学生、進学を希望している学生というようにカテゴリーに分けピックアップしてサポートするようにしています。

—— OUCHI COMMONS の上階はやはりオープンスペースで茶室をイメージした日本語教育センターで、常時日本語の先生とコンタクトできるようになっているんですね。日本語能力試験(JLPT)のN1合格で4単位取得できる。さらに検定料も負担してあげるといふ。

検定料の支給は合格した場合です。合格したら奨学金を出しましょうというのでは、どこでもやっていると思うのですが、不合格の学生に再チャレンジする際に半額支給している学校はほかにはないんじゃないかと思ひます。またN1合格時の4単位付与については入学時の総合ガイダンスで説明するので、その時に「私、N1持っています」といふ学生がいたら、取得1年以内であればやはり4単位付与します。

——取得した資格によって単位が付与される、アドバンスプログラムのようなのですね。

提供するサービスや制度に利用する価値がなければ学生たちは動きません。OUCHI COMMONS は可能な限り管理をしないようにといふか開放す



るような意識をもっています。留学生にとって OUCHI COMMONS は「第三の家」がコンセプトですから、管理されない場所を作る、見守るというのも私たちの一つの使命だと考えているんです。

—— まさにその通りですね。学校側としてはどうしても管理する方向になってしまうのですが、その発想を変えてみる必要もあるわけですね。さて次の話題ですが、外国語学部の国際日本学科は150名の定員で留学生が50名、日本人が100名と聞いています。日本人学生はどんな勉強をするのでしょうか。

国際日本学科は2022年4月に開設された新しい学科です。国際日本学は世界の中にある日本をグローバルな視点で捉え、発信する学問と言われています。この学科は異文化理解、協働学修、グローバル共生社会から実践的な言語コミュニケーション能力を持ち、日本を世界に発信する能力を身につけ、グローバル共生社会に直面する課題に取り組むことができる人材を養成しています。

—— 2年次には国内留学が必修となっていますね。国内留学の制度について伺います。

2年生の前期に行うのですが、国内留学は外国人留学生が対象で、日本人学生は海外留学になります。国際日本学科は2022年に開設されたので、2023、2024年とこれまで2回行いましたが、こ

れは国際日本学科の看板プログラムで面白い取り組みだと思っています。特に留学生が国内の地方大学で、日本文化やその地域の慣習などを学ぶ機会として、とてもよいプログラムだと思います。

—— 相手の大学は、現在は地方の四つの国立大学となっています。国立大学がこうしたことを引き受けることができるんですね。帝京大学の留学生を4か月間、50人ということで一つの大学が十人以上受け入れていることになります。受け入れ先の開拓からプログラムのすり合わせまで、すべて自分たちで立案するというので、ご苦労も多いのではないのでしょうか。

当然すべての大学が受け入れてくれるわけではありません…断られることも多々あります。現在4校とのプログラムに共通していることは担当者の先生方が情熱をもって真剣に取り組んでいただいています。受け入れが決まった後、日本語教育等のプログラムに直接関連することは学科の先生方をお願いしていますが、生活面、特に住居については職員が担当します。これが結構大変です。具体的には、受入れ大学の国際寮に入居できる場合は良いですが、寮に入寮できない場合はマンスリーマンションやウィークリーマンションを紹介しています。これが大変ですね。

—— 東京でアルバイトをしている留学生はどうするんですか。

基本的に留学期間中は、アルバイトはできません。彼らには留学期間中はアルバイトができないことを入学時から伝えています。

—— 留学生からすると旅行気分になってしまうということはありませんか。

受け入れていただいている大学ともに真剣に受

け入れてくださっているのですが、旅行気分とはいきません。2週間とかでしたらそうなることもあるかもしれませんが、4か月も滞在することになるので、さすがにそうした気持ちは払拭されます。そしてその地方の留学生と接触して中で、だんだんと変わっていくのだと思います。留学生もその土地の慣習や文化、日常を過ごすことで、自然と変化するところがあるのではと思います。

—— 次に、留学生就業力育成プログラム (Teikyo International Challenge Program TICP) についてお伺いします。これは日本語力の強化と就職促進プログラム、大学院進学プログラムだと思いますが、すべて単位化されているわけですか。キャリア教育などとすと教養科目になるのでしょうか。

共通教育科目のキャリア教育科目に属します。留学生は1年次に「留学生のためのキャリアデザイン基礎科目Ⅰ・Ⅱ」を履修して、2年次に「留学生のためのキャリアデザイン基礎Ⅲ・Ⅳ」を履修する。3年次は「キャリアデザイン演習Ⅰ・Ⅱ」を履修してもらうのが一番理想的ですね。通期で4単位なので、3科目で12単位になります。また「プレインターンシップ」や「インターンシップ」もあります。

—— ずいぶん手厚くプログラムが組まれていますね。インターンシップ先というのは大学がアレンジするんですか。

大学が紹介する企業もありますが、自己開拓する学生もいます。

—— 最後に、学生募集で私どもがベネッセさんと共同運営しているWebサイト「JAPAN STUDY SUPPOT」を利用いただいています、使い勝手とか、効果とかは感じられていますでしょうか。



2016年から活用を開始しています。学部別に日本語、英語、中国語、簡体字、韓国語、ベトナム語の言語で広報展開しています。帝京大学の先輩留学生の動画もアップされていて、サイトに登録している留学生に対し、言語や希望などを選別的にアプローチできる「スカウト機能」活用しています。多言語による学部情報が発信できるので、大学認知度を高めることができていると思います。10月に実施した、JPSS オンライン説明会では53名の申し込みがありました。JPSSだけの効果ではありませんが、留学生志願者数は2016年の約200人から、2023年度では800人を超える数となっており、それに伴って留学生数も倍増し目標の1000人を超えました。

—— 本日は年末のお忙しいところ、長時間のインタビューにお付き合いいただき有難うございました。留学生向けの素敵な施設ばかりでなく、やはり国際化に一丸となって取り組む教職員の熱意を感じることができました。さらなるご発展を期待しております。

大学入試情報を求めている留学生、日本語学校教員の皆さんへ  
外国人留学生向け日本留学情報サイト

**JAPAN STUDY SUPPORT (JPSS) のご案内**  
(<https://www.jpss.jp/>)

JPSSは（公財）アジア学生文化協会と（株）ベネッセコーポレーションが共同運営する日本最大規模の『外国人留学生向け日本留学情報 Web サイト』です。約1,300の大学、大学院の留学生特別入試の情報等を、日本語、英語、中国語簡体字、繁体字、韓国語、ベトナム語、インドネシア語、タイ語で表示することが可能です。日本留学を検討中の留学生、大学進学を目指す日本語学校生のみならず、留学生を支える語学学校の先生やスタッフの方々も、ぜひJPSSを活用してください。



■ JPSS の 5 つの基本機能

① 大学を探すー出願先を決めましょう。

留学生特別入試を実施している大学・大学院の出願日・試験日・合格発表日程、受験方式、受験科目などが検索できます。学校名での検索だけでなく、エリア、学校種別、学問分野、キー

ワードから検索できます。また、「英語で学べる大学」など、留学生がよく調べるカテゴリでは「こだわり検索」として一覧で見ることができます。



### ② 進路に迷う人には「学問適正チェック」へ！

「学問適正チェック」診断テストでは、関心事や得意なことから進路を選ぶことができます。質問に答えると、5つの観点（研究分野、社会性、芸術性、統率性、現実性）での適正分析が示されると同時に、「あなたに向いている学問」が表示されます。同時に「あなたに向いている学問」が学べる大学も表示されるので、留学先の候補としてチェックしてみましょう。



### ③ 先輩から学ぼう

すでに日本の大学で学習を始めている“先輩”留学生からのアドバイスビデオから経験談



⑤ 日本留学についてのAからZまで、そして奨学金の情報も得ることができます。

学校の種類の違いって？どうやって出願するの？ビザはどうやって申請するの？生活費はどれくらいかかるの？などなど知りたいことは無限にあります。JPSSでは日本留学を考え始める最初に読むべき情報から、大学を卒業して就職を考えるときに知りたいことまで、日本留学を目指している学生にとって必要な一通りの情報がまとまっています。

日本留学のAからZまで、丁寧に解説します。

- 日本留学はじめの一步  
「留学の経路」「学校の選択」「試験の種類」「大学受験」など
- 留学生生活案内  
「入国手続き」「健康保険」など、また、「ゴミの捨て方」など細かい生活に必要な情報まで網羅
- 就職活動案内  
いつからどのように就職活動を開始するのか。会社選びはどのようにするのか。日本独特の「就活」について解説
- 留学生のための危機管理講座  
「地震編」「火災編」「事件・事故編」「医療編」この4つのテーマをしっかりと理解し、事前知っておくことで、いざという時の対応と、準備を整えることができます。

奨学金検索では150以上の留学生対象の奨学金から「学校種別・課程」「応募締切り日」などの項目で検索することができます。

**奨学金を探す**

日本ではいろいろな団体から外国人留学生向けに奨学金が支給されています。団体によって応募条件や金額は様々なので、自分に合ったものを探してみよう。

奨学金名	<input type="text"/>	学校名	<input type="text"/>
奨給者の居住国	<input type="text"/>	学校の所在地	<input type="text"/>
種別・課程	<input type="text"/>	応募締切(月)	<input type="text"/>
応募時の居住地	<input type="text"/>	<input type="button" value="この条件で検索"/>	

## ■ JPSS オンラインセミナー オンラインカレッジフェア

JPSSでは、世界中のどこからでも参加できるオンラインの日本留学セミナーやカレッジフェアを開催しています。留学生の皆さんが日本の大学、大学院、専門学校、日本語学校に入る方法について学べる機会を提供します。

セミナーの内容は様々で、日本の大学等の学校への出願プロセス情報をお伝えすることもあれば、「面接対策」「小論文対策」など具体的な内容をお知らせすることもあります。また、大学・専門学校・日本語学校の担当者を招いて学校の紹介や、どんな学生に入学してほしいかなど、言語別、国地域別の日本カレッジフェアも企画しています。

今後のオンラインフェア、セミナーの情報をキャッチできるように、JPSSのMy Page登録をして下さい。JPSSマイページ登録でメールマガジンを受け取っていただければ、見逃すことなくになるのでお勧めです。



# ベトナム ドンズー日本語学校

## DONG DU JAPANESE LANGUAGE SCHOOL

### — 変化する日本語学習需要への対応 —

元日本留学生であり、現校長のグェンドク ホエさんが1991年、ホーチミン市に設立した東遊（ドンズー）日本語学校（43D/46 Ho Van Hue St, Ward 9 Phu Nhuan District, HCM City）はベトナム最大規模の日本語学校として、30年以上に渡りベトナムの日本語教育を牽引してきた。そのユニークかつ厳格な指導方法で、ベトナムでは知る人ぞ知る日本語教育機関であるドンズーだが、その名を日本の関係者に広く知らしめたのは、ドンズー日本留学生の存在だろう。経済的には恵まれなくとも優秀で向学心に溢れる若者をベトナム全土から選抜し、ホーチミン本校で徹底した留学準備指導を行った後、日本各地の日本語学校に送り出す。学生たちは1年から2年、新聞奨学生などのアルバイトで生活費や進学資金を稼ぎつつ大学受験を目指すというものだ。経験した誰もが辛かったと漏らすこの留学プログラムだが、ほとんどの学生が一流大学に進学し、優秀な成績を収めて卒業、日本やベトナム社会で活躍している。これまで2000人以上がこのプログラムで日本に留学しているそうだが、ベトナム社会の変容とともに近年日本に留学を希望する学生の数が減少しているという。そこで今回ドンズー日本語学校本校にお邪魔して、副校長のグエンティチャー ムアン先生に学校の現状と課題、今後の展望についてうかがった。

—— 現在のドンズー日本語学校の運営状況について教えてください。

校舎は本校のほかホーチミン市内に分校が3つあり、初級、中級、上級のコースを1ターム12週間単位で行っています。ただし中級以上のコースは本校でのみ行っています。そのほか需要に応じた形で、短期集中型のコースを設定していて、現在は本校でJLPT（日本語能力試験）を目指す急速コースが午前中に開催されています。生徒数は全クラス合わせて1000人ほどで、1年を通してほぼ同じです。コロナに入る前の2019年は4000人以上だったのですが、コロナを境に大きく減少し戻っていないというのが現状です。

—— それぞれのコースでは、どんな目的の生徒



ホーチミン本校

さんが多いのでしょうか。

午前中の急速コースはこれから日本に留学する、日本で働くという理由で日本語能力試験（JLPT）

を目指している生徒たちです。ベトナムの日系企業から日本に派遣される予定の人や、日本の教育機関に留学することが決まっている人もいますが、最も多いのは技能実習生などで日本に行く予定の人たちで、登録先の送り出し機関からドンズーでの勉強を勧められ、N5、N4の取得を目指している人たちです。夜のクラスは社会人や大学生など様々ですが、最近は中高生、特に中学生が増えています。これはベトナムの中等教育機関が日本語を第一外国語としていて、年々導入する学校が増えているからです。

—— 時に厳しいと言われるドンズーの授業ですが、特徴はどのようなところにあるのでしょうか。

たとえばドンズーではひらがなを習得してからカタカナ、そして漢字と順次導入していきますが、漢字を導入した後は教科書にフリガナを付けていません。既出の文字や文法については復習をして覚えてこないと次の授業についていけませんから、緊張感が生まれ、みなさん一生懸命に覚えようがんばります。そうしたところが厳しいと思われるところなのかもしれません。

また授業では「聞く・話す・読む・書く」という4技能にバランスよく力を入れています。学生の話ではいつも聴解が一番難しいということなので、初級のクラスでは文型を導入するとき、まず耳で単語と文に慣れてから目で文を確かめるといった形をとっています。そして、「読む・書く」の順に進めています。

—— 先生について、研修方法なども含めて教えてくださいいただけますか。

現在先生は30人で、そのうち常勤は20人です。先生方の多くはドンズーで学んだ方々ですから、ドンズーの精神とか、教え方といったものは定着しています。それに1ターム＝12週間が終わる



ゲン・ティー・チャム・アン副校長

2010年非常勤講師としてドンズーに入職。2013年日本留学、流通経済大学サービス産業学部で学ぶ。2017年に帰国し常勤講師に。2022年より現職。

と1週間の休みがありますが、その間の3日間を使い、勉強会を行っています。朝8時から夕方5時まで、前学期の授業の問題点や良かった点について全員で意見交換をして、問題があればどのように対処、改善すればいいのかということをお話し合うようにしています。それに加えて、授業期間中もクラスがない午後の90分間会議があり、そこでも授業の仕方についてほかの先生に評価をもらおうということをしています。ある先生が新しい教え方を導入したいと思ったら、実際にほかの先生方の前で実践して見せて、賛成を得られたら次の学期から授業に導入します。各コースの教案は新学期が始まる前に出来ていますから、一人の先生の思いつきで教案から外れた授業はできません。もちろん各先生の個性は尊重していますが、特に文法を導入する際の教え方、流れについては



(上左から) 開放的な雰囲気のリビー。奥のテレビでは朝 NHK ニュースが流されている／壁に貼られている標語 (下左から) 学校受け付け／学校玄関。ほとんどの学生がバイクで通学している

統一するようにしています。

—— 先生の採用についてはどのような条件で行っているのでしょうか。

先生の募集は JLPT の N3 以上という条件で行っていますが、採用後一定期間のうちに N2 を取れるよう、勉強していただきます。そして N2 に合格したら N1 を目指してもらいます。また、ドンズーの先生方には短期間でも日本留学を体験してもらいたいと思っており、奨学金の出る研修プログラムなどへの参加を勧めています。現状、全ての先生に十分な能力があるわけではありませんから、校長は NHK のニュース番組を聞かせるなどして、各教師の能力アップをはかっています。

—— 日本人教師は不在なのでしょうか。

日本人の先生は募集しているのですが、コロナ禍以降不在状態が続いています。最近ベトナムではベトナム人の雇用を守るために外国人のワークパーミット取得要件が厳しくなっています。日本語教師の場合は原則 5 年以上の経験が求められるなど、以前のように簡単に日本人の先生を採用することができなくなりました。ですから生徒に日本人との会話の機会を持ってもらうため、日本人駐在員の奥様などに呼びかけて毎週 3～5 人の方に学校に来ていただき、「日本語クラブ」という任意参加の会話の場を設けて生徒の参加を促しています。

—— コロナ禍以降、生徒が戻らないということ



▲各教室には大きな窓があり、廊下から教室の様子をうかがえる

▶ 中級クラスの授業風景



ですが、原因はどこにあると考えますか。

まずベトナム全体で日本語学習者は減少しているようです。その理由は経済的なものが大きいと思います。日本語を学ぶ人の多くは日本で働くことを目的としていましたが、今は円安でベトナムに送金してもあまり良いお金になりません。そのため日本よりも良い収入が見込める韓国やオーストラリア、台湾に行ったほうが良いということで、日本語の人气が下がっているということです。それに加えて、最近はN5やN4を持っていても、ビザが出ないというケースが増えており、そうしたことから日本を敬遠する人が増えているのかもしれない。また経済的な要因以外でも、以前はアニメが好き、漫画が好きで日本語を学びたいという生徒が多かったのですが、今はKpopや韓国ドラマ、タイのドラマなどが人気で、その影響が強く日本の印象は弱くなっています。Kpopのアイドルはベトナムにも公演に来ますから、やはり憧れの人物が話す言葉を学びたいという気持ちは大きいですね。

ベトナム国内の日系企業についても以前は多くが日本語ができることを採用条件にしていたのですが、今は企業自体が変わってきていて、英語ができれば構わないというところが増えていきます。そうしたところでも、日本語の必要性が薄れている

ように思います。

——では、ドンズー留学生プログラムは現在どうなっているのでしょうか。

留学コースについては、募集してもなかなか集まらないという状況が続いています。実際に希望者が減り始めたのは2012年くらいからで、特にコロナ禍で募集が中断し、それ以降極端に減りました。最盛期は毎年200人近い学生を日本に送っていましたが、現在は年間10人～20人ほどです。

——希望者が減ったのはやはり日本経済の問題からでしょうか。

それもありますが、大きな要因として、すでに親類が日本にいる人が増えたということがあります。日本語学校は親類の方が決めていて、ドンズーには日本語の勉強のためだけに来ているという学生も増えています。また、経済的に余裕のある家庭が増えて、取って代われないドンズーの留学コースを選ぶ必要がなくなったということもあります。

もちろん経済的に恵まれていない優秀な学生にチャンスを与えたいという校長の思いは今も変わりませんし、そういった学生も少なくありませんが、在留資格の取得が厳しくなっており、以前の

ように日本でアルバイトをすることが前提の留学というのは難しくなっています。

—— **日本語学習者が減少する中で、今後の学校が向かうべき方向について、考えられていることはありますか。**

何もしなければ生徒数はどんどん減少していくわけで、生き残るためには教育の質をどう確保していくのかということが大事だと思います。そのために毎日の授業で学生の反応をよく観察し、少しでも気が付くことがあれば、考え改善していくよう努めています。また、これからはただ日本語が話せるだけではなく、学んだ知識を仕事で生かせる、使える人材を育成していきたいと思います。その一環として、月に一度、日本人の経営者の方に来ていただき、会社の経営理念や日本人の仕事に対する考え方などについて話していただく講演会を行っています。

そのほかコース修了後の進路の心配をしている生徒もいますから、そうした人の希望に応えられるよう、企業の協力もいただければと思っています。会社ではこんな人材が必要という情報があれば、それに沿ったコースを作ることも出来ますから、企業とはそうしたところでの関係作りもできればと思っています。

—— **ベトナム人が積極的に日本語を学ぶ意味、日本に留学する意義はまだあると思いますか。**

あると思います。日本人とベトナム人は価値観が似ていますから、日本で学びベトナムで生かせることはたくさんあります。例えば「考え方」というのは意識して身に付けられるものではないかもしれませんが、日本に留学して日本人と交流をしたりアルバイトをしたりする中で、それまで見えていなかったものが見えるようになっていきます。自分のことだけではなくて周りの人ことも考

えられるようになり、その結果ものごとがうまく行くということがあります。私自身今この職場でうまくやれているのは、自分のことだけではなくて、周りのことにも配慮をして、協力し合おうという気持ちで仕事をしているからだだと思います。ベトナムで大学生だった頃はただ自分のこと、自分がうまくいくことだけを考えていて周りのことなど考えることはありませんでした。

日本では、企業は儲けることではなくお客さんのことを考えて製品作りをする。それが結果的に会社の利益に繋がるという考え方が身に付きまして、そうした理念はベトナム社会でも価値観を持って受け入れられるものです。そうしたことを学べるという意味でもベトナム人が日本に留学することの意義はあると思います。

—— **ドンズー留学生プログラムでは、これまで2000人以上の留学生を日本に送り出してきましたが、その成果についてどのように考えますか。**

ホエ校長は常に「ほとんどの人は自分の幸せだけを考えていて、まだベトナムのために力を注いでいない」とおっしゃっています。それも確かですが、今2000人の元留学生の多くが日本企業や教育機関で重要な役割を担っていますし、会社を起業した人も多くいます。ベトナムで雇用を生み出す、技術移転を行うといったところでは成功を収めているのではないのでしょうか。

ドンズーには将来日本で働くために日本語を学んでいる人も多くいますが、単純に労働者として日本に行くのではなくて、自分はどういうことを日本で学びたいという目的を持って日本に行ってもらい、そこで学んだこと、その知識をベトナムに還元して欲しいと思っています。

—— **再びたくさんのベトナムの方が日本語を習いたくなるよう、日本はもっと元気にならないといけませんね。本日はありがとうございました。**

## 海外の日本語教育機関と日本語教師

Bach Viet 短期大学 外国語学部日本語学科  
(学科長) ヴォ ティ バオ アン先生 (Ms. Vo Thi bao anh)  
～ベトナム人教師が育てるミャンマー人日本語人材～

世界各地で活躍する日本語教師たち。もっとも、日本人教師が在籍している地域や学校は限られており、特に中小の教育機関では現地の教師達が努力と工夫を重ねながら日々生徒達に日本語や日本の魅力を伝えてくれている。今回はそんな教育現場の一つであるベトナム・ホーチミン市の Bach Viet 短期大学にお邪魔して、学科長であるヴィティバオ アン先生（以下アン先生）に、同短期大学の日本語教育の現状についてお話をうかがった。なお、アン先生は元ドンズー日本留学生である。

### ドンズー日本留学プログラムで日本留学

—— アン先生はドンズーの日本留学プログラムで日本に留学されたそうですね。

私は国家大学のホーチミン市 人文・社会科学大学の日本語学部を卒業しました。大学で日本語を学んだのは、テレビや本で見た日本の伝統文化に強い興味を持ったからです。卒業後はドンズー日本語学校で1年間日本留学の準備をし、2005年に静岡の日本語学校に留学しました。日本語学校には1年間在籍して受験準備をしながら居酒屋でアルバイトをして、進学のための貯金をしました。そして進学した金沢大学大学院で日本語教育を専攻し、2年で修士号をとって帰国しました。勉強とアルバイトの両立は想像以上に大変なものでしたが、そのおかげで自分は成長できたと思っています。過去を振り返ると、その大変な時期に感謝したいですね。

—— 日本生活で印象的だったことを教えてください。



金沢は寒いところでしたが、とてもきれいな街でした。日本にはいろいろ良さがありますが、やはり私にとって魅力的なのは謙虚さや規律、礼を重んじる心など、日本人の伝統的な価値観です。また、特に印象に残っているのは日本人のサムラ

イ精神で、何事もあきらめずに、最後まで頑張るという精神は、私の考え、人生に大きな影響を与えてくれています。

——— 日本では就職せず、帰国されて日本語の先生になられたのですね。

そうですね。私は留学する前からベトナムで日本語の先生になるという夢があり、早く帰ってその夢を叶えたいと思っていましたから。帰国後は非常勤講師として母校の人文社会科学大学で10年間日本語を教えました。本当は常勤になりましたのですが、当時は家族の事情があって、非常勤を続けました。そのあとコンサルティング系企業の教育関連部門で日本語教育を担当しましたが、企業向けの語学教育というのは大学などで行うものとは違い馴染めませんでした。それでまたアカデミックの世界に戻りたいと思い、2018年、こちらの学校に移りました。

### ミャンマー人留学生への日本語教育

——— こちらの Bach Viet 短期大学（短大）について教えていただけますか。ベトナムでは短大の人気はどのようなのでしょうか。

ここは理系も文系も学べる総合短期大学です。2年制の学校というと、日本には専門学校もありますが、ベトナムでは短大がその役割も担っていることになります。ただし、カリキュラムは大学と同じで、学んだスキルは大学を卒業した学生とほぼ同じですから、家庭の事情で4年間は学べないという人、早く働きたいという人が短大に来るケースが多いと思います。人気という点ですが、私の時代は大学進学には入学試験を受けなければなりませんでした。現在は高校の成績評価だけで大学に入ることができますから、あまり学校を選ばなければ大学に入るの



Bach Viet 短期大学

194 Le Duc Tho Street, Ward 6, Go Vap District,  
Ho Chi Minh City 700000, Vietnam

は簡単になっています。特に親は子供を大学に行かせたいと思いますから、短大の人気は落ちていると感じます。

——— クラスの定員や、日本語の先生の人数について教えてください。

クラスの定員は20人ですが、募集人数に定員はないので、入学者が多ければクラスは増やせます。ただ最近日本語希望者が少し少なくなっており、ここ数年は毎年1クラスでの開講となっています。先生は、現在常勤が3人で、非常勤が8人います。日本人教師はいません。

また、今年の10月からはミャンマー人留学生の受入れを始めています。しばらくの間、2カ月毎に1クラス20人の学生が入学してくる予定ですから、ミャンマー人学生の数は増えていく予定です。

——— ミャンマー人留学生専用のクラスというこ



日本文化授業での茶道体験



日越司会コンテスト（Bach Viet 短大日本語学科が主催する全国大会）準決勝ラウンド

とですね。どのようなプログラムなのでしょう。

ご存知のように、ミャンマーは政情が不安定ということで、現地で勉強を続けられなくなった学生達を仲介会社を通して当短大で受入れることになったんです。いくつかの学科で受入れを予定していますが、最初に受入れたのが日本語学科です。入学の条件はこちらに来る前にN4を取得していることで、こちらで2年間勉強をして短大の卒業資格をとった後、日本での就職を目指す予定です。

—— 授業の言語はどうなるのでしょうか。

日本語の授業は全て日本語で行うのですが、そのほかの一般科目については、英語で行われています。ベトナム語については生活に困らないように入学後の1ヶ月間、集中して学んでもらいました。

—— 日本語の授業について、ベトナム人学生との違いはありますか。

授業で違う点はひとつだけで、直接法で行うということです。それに違いと言いますか特徴になりますが、教室が単なる授業の場ではなく、ベトナムとミャンマーの文化交流の場になっていると

いうことです。先生方はミャンマー人学生にベトナム文化を紹介し、学生はミャンマー文化を日本語で発表してもらおうといったことをしています。ですから先生方にとっても新鮮で楽しい授業になっています。

—— ASEANの国々の方々が日本語で文化交流をしてくれているというのは、日本人として嬉しいですね。

### インターンシッププログラムで日本へ

—— ではゼロからスタートしたベトナム人学生はどの程度までレベルアップするのでしょうか。

N3からN2という感じです。実はほとんどの学生が2年目にインターンシップで1年間、日本に行きますから、そこで日本語力が大きく伸びるんですね。

—— インターンシップは必修なのでしょうか。

インターンシッププログラム自体は必修なのですが、ベトナムで行うか、日本で行うかは学生が選びます。ベトナム国内の日系企業で行う場合は、2年生の最終学期の3か月間となりますが、日本



文化祭でたこ焼き販売



日系企業見学でヤクルト現地法人を訪問

で行う場合は、1年生が終わった後の1年間となり、インターンシップ終了後また大学に戻り2年生を行います。ですから日本に行った場合は卒業まで3年かかることとなります。参加費用は渡航費等込みで2500万ドン（約15万円）ほどかかりますが、インターンシップ先の企業では給与が出ますから、それもほとんどの学生が日本行きを希望する理由です。

——戻ってきた学生の感想はどうでしょうか。

卒業後、また日本に、インターンシップ先の企業に戻りたいという希望が多いです。一方で、日本の生活が合わなかった、やはり家族と離れるのは辛いから、ベトナムで就職したいという学生もいます。

### 日本語、日本文化の魅力を伝えるために

——では、御校の日本語授業の特徴などがあれば教えてください。

日本語だけでなく日本文化にも興味を持ってもらい、もっと日本を好きになってもらいたいと思っていますから、カリキュラムには日本語の授業だけではなく、伝統文化やビジネスマナーの授業などもできるだけ取り入れています。例えば「生け花」では、日本で勉強したベトナム人教師がお花や道具を用意して、説明や実演をしてから、実際に学生に挑戦してもらっています。

——日本人スタッフ不在の中で、ベトナム人の先生方が日本語だけでなく日本文化の魅力まで伝えようと努力してくれていること、本当にありがたいと感じます。では、今教えていて足りないこと、必要と感じていることはありますか。

現在初級は「みんなの日本語」で、中級はJLPT向けの教科書を使っていますが、ベトナム人学習者向けの教科書の必要性を強く感じており、今それを自分で開発しています。具体的には漢越語<sup>註</sup>が活用できる教科書で、ベトナム人日本語学習者が理解しやすいものになりたいと思っ

註) ベトナム語の単語の約70%を占める漢字に由来する語彙。漢字のベトナム語での読み方を「漢越音」といい、日本語の音読みに近いものが多いのが特徴。(https://www.viet-jo.com/howto/basic/127 ベトナムニュース総合情報サイト VIETJO より)



ミャンマー人留学生たちとアン先生。(学校ロビーで)

N4が入学時の条件というミャンマーの学生たちの日本語力は、日常会話がほぼ問題なくこなせるレベル。1年半後が楽しみだ。日本に留学する選択肢もあったというが、留学費用がより安く済むベトナムを選んだそうだ。

ています。

それから欲しいのは日本人の先生ですね。ただこちらで教える場合は非常勤となるため日本語教師の資格だけでなく、既にワークパーミットを持っていることが条件になります。そうした人材をホーチミン市内で探すのは難しいですね。

3番目は優れたベトナム人日本語教師です。最近日本語教師になりたいというベトナム人が減ってきています。私の周りにも日本語を専攻した人たちが日本語の先生になりたいという人は多いのですが、家族の世話をしないといけないなどの理由で、より収入の高い企業などに行ってしまう。教育機関は日本語教師の給与をもっとあげなければ、良い先生はどんどん減るばかりと感じています。

——— 今、アン先生が理想とする日本語教育ができていますか。

日本での経験や勉強した知識を生かすことが出来ていると思います。途中で退学してしまう学生も何人かいますが、やめずに残っている学生はそれぞれアニメや漫画など日本の好きな面

があったり、日系企業で仕事をしたいという希望があるなど、目的を持って勉強を続けている人たちです。特に短大で日本語を専攻する学生は、日本に行って仕事をしたいという気持ちが、大学の学生よりも強いので、熱心に日本語を習得しようとしています。そこは嬉しく思いますし、やり甲斐を感じます。

——— これからの目標があれば教えてください。

もっと日本語を勉強したい人を増やしたいですね。日本語の発音はやさしくて、ベトナム語の発音に近いんです。その上、発音通りに書きますから、覚えるのは難しくありません。読み方を覚えれば、その言葉が書けます。ですから英語の語彙学習と比べると、日本語のほうが楽なんです。そうしたことも含めて、もっと日本語と日本の魅力を伝えていきたいと思っています。

——— 先生の日本語教育に対する情熱が伝わってきました。これからも日本語の魅力をベトナムの若者に伝え続けていっていただければと思います。ありがとうございました。

# 新星学寮での生活

(第16回)

新星学寮はアジア学生文化協会の創設者である穂積五一先生が1932年に再興した至軒寮を戦後(1945年)改称したものです。以来日本とアジアの青年学生が自治的な共同生活を通じ、相互理解を深め友愛を培う場として維持されてきました。しかし老朽化が進んだため、2018年に耐震性・耐火性を備えた建物に建て直されました。建替えに当ってはOB・OG・関係者の皆様から多大なるご協力をいただき、2019年4月に新入寮生を集め新たなスタートを切ることができました。本コーナーでは寮生へのインタビューを中心に新星学寮の今をお伝えします。

## 日本人寮生に聞く新星学寮の生活

みやざきまさや

宮崎将也さん (日本・大阪)

東京大学大学院 工学系研究科建築学専攻 (修士1年)

早くも第16回目となった新星寮生紹介の本コーナー。今回はこの春入寮したばかりにも関わらず、すでに寮長としての重責も担う、大阪出身の宮崎さんにお話を聞きました。

——現在の研究について教えてください。

木質構造デザイン工学という、主に木造の構造を専門とする研究室で、木造構造の研究をしています。研究室にはいろいろな研究をしている人がいて、東京駅など近代建築物の接合部の構造を研究している人もいますが、僕は五重塔に風が当たった時の構造性能を研究しています。指導教員である腰原先生は木造をこれからどう発展させていくか、都市の中にどう大規模木造建築物をつくっていくかというところを積極的



に研究されている方なので、将来自分が実務を行う側になった時に必ず役に立つはずと思っています。

——なぜ木造だったのでしょうか。

一つは歴史的建造物への興味です。出身が大阪ということもあり、関西圏に多く存在する重要文化財に指定されているような歴史的建造物は非常に身近なものでした。もっと身近なものを挙げると、私の祖母の住宅の影響もあるかもしれません。祖母の家はたぶん築80年以上建っており、外装材などの剥落はありますが、構造体は丈夫で全然修理は必要なさそうです。そしてとても断面の大きい木の梁がすごく印象的で、それを幼少期の頃から見ていたので、意識はしていませんでしたがそのころから木造への興味はあったのだと思います。また、木造を学ぶことは今後の社会において他の構造よりも非常に社会的意義が大きいと感じています。木造は住宅では一般的ですが、非住宅の建物ではまだまだ一般的から程遠く、近年やっと都市に木造が建てられ始めたという感じです。逆に言うと鉄筋コンクリートや鉄骨に比べ木造はまだまだ発展の余地があり、そんな木造を大学院で専門的に学べば木造発展、今後の建設業の発展に貢献できると思ったんです。

——対象に五重の塔を選んだのはなぜですか。

学部の際は建築史が専攻で、卒論では内モンゴル・チベット仏教寺院の分類について研究をしました。具体的には寺院の柱がどのくらいの寸法で入っているのか、建物全体がどんな構造で出来ているのかといったことで、実際に内モンゴルにも行き、図面が存在しないいくつかの寺院で調査を行い、帰国後その結果を図面におこして、他の寺院と比較しました。当時は宗教建築に興味があって、そこから歴史（建築史）の研究をしていたの



入学式の前に研究室で

ですが、宗教建築への興味はその後も続いていて、今は五重塔の研究をしているということです。

——どんなきっかけで宗教建築に興味を持ったのでしょうか。

大学は大阪の大和大学だったのですが、学部1、2年の時がちょうどコロナ渦の最盛期で、外には遊びに行けなくて1日中1人で過ごすことも少なくありませんでした。そうした日々の中で今まで抱えていた、もんもんとしたものについて考え込む時間が増えて、そこから建築について、1人でも安心できるような空間について考えるようになりました。そんな話を指導教員にしたら、それじゃあ卒業研究では宗教系建築をやってみたらどうかと勧められたんです。

——調査ではモンゴルに行かれたわけですが、海外やアジア、留学生への関心というのはどうだったのでしょうか。

大学時代の指導教員が内モンゴル出身の包慕萍 (BAO MU PING) 先生という、中国の大学を卒業後、東京大学で博士号をとられた方だったことで内モンゴルとの出会いがあったのですが、先生はこの新星学寮のOGでもあったんです。それで寮や大学で経験した国際交流の話がうかがい、海外や留学生への興味を持つようになりました。



福島県浪江町で空き家となった住宅を活用して研究者のための空間をつくるプロジェクトに参加  
[https://note.com/namie\\_ano\\_ie](https://note.com/namie_ano_ie)

——では東大に入ったら新星への入寮は当然、という流れですね。

そうですね（笑）。先生から勧めていただいた新星学寮のことを自分で調べて連絡をとり、見学に来ることになりました。

——実際に寮を見てどうでしたか。

先生からは、いつもみんなが共有スペースに集まってわちゃわちゃしているといった話を聞いていましたし、当時は一部屋に2人だったということで、プライベートがないのかなど少し期待と不安が入り混じったものがありました。ですが、建て替えられた寮は個室でプライベートもあり、なおかつ共用スペースに来れば誰かと顔を合わせることが出来るという、自分にとっては居心地良さそうな空間だと感じました。

——様々な当番制についてはどうでしたか。

抵抗感はなかったですね。それは、長年サッカー部に所属していて、合宿があったり清掃当番があったりという集団生活をずっと経験してきたからだと思います。

——共生寮に入るための適性は十分にあっていいことですね。

個室ではあるのですが、守らなければいけない

ルールや、役割がありますから、集団行動ができるかどうかというのがポイントだと思います。逆に言えば自分の場合はこだわりを持ちすぎてないところ、相手に合わせることができるところで向いていたのだと思います。

——では意外だったことや、改めて楽しいと感じることについてはどうでしょう。

意外だったといえば、同時に入寮した台湾の学生が隣の部屋にいますが、彼とはすぐに打ち解けて仲良くなりました。お互い料理をしますので、一緒に作って食べたりしていますが、入寮してすぐにそんな関係を築けるなんて予想していませんでした。また、食事会ではそれぞれの国の寮生が母国の料理を作って紹介してくれますし、今年から複数人で食事に行く時は寮費から少し補助が出るという制度ができて、みんなで誰かの母国の料理を食べに行くといった機会も増えています。楽しいのはもちろんですが、今まで遠かった外国の文化がいつも身近にあることの素晴らしさを感じています。

——逆に共同生活での難しさを感じる時はありますか。

これは国の違いというよりは、それぞれが育ってきた家庭文化や性格の違いだと思うのですが、



koyart プロジェクトの展示会で（※主に野菜の販売小屋をテーマにした作品を通じ、社会課題に実践的に取り組む団体の活動を紹介するプロジェクト。<https://www.koyart.net/>）

何を気にして何を気にしないかというラインの違いについては、少し難しいところだなと感じます。例えば月に2回掃除当番があるのですが、きれいに掃除ができたと見なすラインが人によって違うといったことです。生活スタイルもそれぞれで、真夜中にキッチンで料理をしていた人がいた時は驚きましたが、誰かに迷惑をかけているわけではありませんし、部屋は個室ですから、それがストレスになるということはないですね。

—— 宮崎さんは今現在寮長をしています。最近寮会で議論になったようなことはありますか。

最近だと食事会に関連したことで、材料の買い出しの際にタクシーを使ってもいいのかという話題がありました。もちろん大きなお金ではないのですが、寮費は全員が出しているものですから、そこは議論をしました。結局、急に雨が降ってきたり、準備に参加できる人が少なくて運搬が大変だったりする時は使ってもいいのでは、実況に応じて判断するしかないよね、という結論になりました。今の寮会では、毎回建設的な意見交換が来ていると思います。

—— では、寮にいる間に実現したいと考えていることなどはありますか。

僕が寮に入ってから、まだ全員での旅行は行けていないので、それはぜひ実現したいと思っています。また、寮にはいろいろな国の方がいるので、学校の長期休みの際、寮生の帰省に合わせて自分もその国に旅行に行き、彼らのホームタウンを案内してもらえたらと思っています。今年僕が大阪に帰省した際、他の寮生が旅行に来てくれて僕が街を案内したのですが、お互いに相手の地元で会えるというのは、素晴らしいことだと思います。

—— ほかに、新星学寮に入って発見したことや学んだことなどがあれば教えてください。

当たり前かもしれませんが、お互いの文化を尊重するということです。例えば、みんな一緒の食事会でも宗教上豚はダメ、鳥がダメという方はいますし、もちろん各々好き嫌いもあるわけですが、そうした違いを受入れること。相手のことを考えて違いがあればそれを認めて尊重することが大事なんだということを改めて学びました。

—— 最後に将来の夢、想像する寮との関係も教えてください。

卒業後はゼネコンなどに就職し、いつか自分の理想とする木造建築に携わるのが夢です。そして、新星学寮に入ったことで、自分の世界は間違いなく広がると感じています。みな卒業、退寮してしばらく経っても、日本や世界のどこかで再会して旧交を温め合うような、そんな交流がいつまでも続いていくのかなと期待しています。

—— 近い将来宮崎さんがつくった素敵な木造建築物に、世界のどこかで出会えることを楽しみにしています。ありがとうございました。

新星学寮ブログ（募集案内等）  
<https://www.shinsei.haus>

# BOOK REVIEW

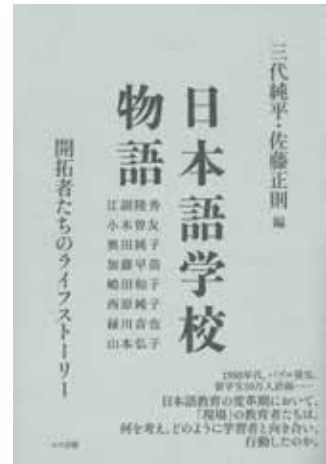
## 「日本語学校物語 開拓者たちのライフストーリー」

編者：三代純平・佐藤正則

出版：ココ出版

初版：2024年12月 223頁

定価：2,640円（税込）



本書は、日本語学校界という狭い業界の中でありながら、そこでは広く知られる教師であり、学校経営者でもある著名な8名のライフストーリーを収めた一冊である。これらのストーリーは、紆余曲折や混乱の連続といえる日本語学校の歴史の中で、信念を持って日本語教育に向き合い、教授法を模索し、多文化共生を実践しながら学校運営を行ってきた方々の人生を描いている。日本語教育推進法に続き2024年度からは日本語教育機関認定法が施行され、日本語学校は国の認定機関となることとなった。その年に本書が刊行されたことは、まさに絶妙のタイミングであると言えるだろう。

本書のサブタイトルには「開拓者のライフストーリー」とある。戦前の日本の皇国殖民地教育の尖兵となった日本語教育から、戦後しばらくはほぼ忘れ去られたような状況であったが、1983年の留学生10万人計画後から、再び脚光を浴びることとなる。しかし日本語学校という存在は、光を浴びる部分より、その影のほうが色濃く日本社会に印象を残してきたのではなかったか。例えば、学校の設置基準がないままピザが乱発されたため問題となり、社会的な不信感を引き起こしたケースや、外国人労働者の受け皿ではないかと議論を呼んだこともあった。そのような中、徒手空拳で日本語教育に真摯に向き合い、教育の実践現場を担い、教育理論を構築していく様はまさしく

「開拓者」と呼ぶに相対しい。

ここに登場する8名は、それぞれ非常に異なった背景や経歴を持っていて、その多様性が本書をさらに豊かなものとしている。今、堂々と「業界」の指導的立場にある彼らにも、若い時には迷いがあり、道を定めるきっかけとなる人との出会いがあったのだ。そして幾多の困難を超えるため、どれだけの情熱と努力を注いだか。それぞれの教育者としての覚悟や、使命感、そして充実感が読者にリアルに伝わる。

本書を通じて、読者は日本語教育の奥深さや、そこに込められた情熱と誠意に感動し、また、日本語教育という仕事を持つ社会的責任や影響力を改めて認識するきっかけとなるだろう。日本語学校が単なる学びの場であるだけでなく、異なる文化やバックグラウンドを持つ人々をつなげる重要な役割を果たしていることに気づくはずだ。そして、今日の日本における社会的意義が改めて浮き彫りにされる。日本語教育を目指す人々にとっては、歴史的理解を深め、インスピレーションを与えてもらえる一冊である。

誠に残念なことに、その内の3名が本書の刊行を待たずに鬼籍に入られた。その中には、本協会の前理事長である小木曾友氏も含まれている。奥田純子氏、江副隆秀氏、小木曾友氏には、本書が永久の旅立ちへの餞の一冊となった。ご冥福を祈りたい。  
(白石)

バンコクの泰日工業大学で活躍するスタッフ&amp;先生によるリレーエッセイ

# 泰日工業大学 (TNI) 奮闘記

水谷 光一

## ⑤3 開学時の振返りと 2024 年忘年会

TNI（泰日工業大学）は2006年の9月に大学設置許可がタイ政府から下り、大学として業務をスタートした。その年の9月には泰日工業大学発足の記者会見をした。同時に高校に対して大学開設の宣伝をして学生募集を開始した。

2007年3月5日に完成したばかりの校舎に移動して仕事を開始した。そして5月30日に大学の仮オープニング式典を行ったが、まだホールや大教室もなく、B棟の地下、吹き抜けの屋外での実施となり、日本大使館からのVIP等にもそこでスピーチを行っていただいた。

この年の入学者433人のうち、大学院生は約130人、学部生は約300人だった。TNIの親団体である泰日経済技術振興協会（TPA）は社会人対象に日本の生産技術を教えていたこともあり、社会人対象の大学院はすぐに学生が集まったのだと思う。授業は5月31日から開始。6月～9月までが前期であった。

2024年の新学期が始まったのは6月24日なので、約一か月遅れで前期が始まっている。これはCovid-19(新型コロナウイルス)騒動の3年間の間に、いろいろと混乱が生じた余波だと思っている。なお2025年(タイ歴2568年)の新学期(前期)開始は6月23日、終了は10月23日である。

さて、2024年の最後を忘年会で締めくくるのは日本と同様である。今年のTNIの忘年会は12月20日金曜日に行われた。開始は18時で、まず出席者の確認をして自分の名前の欄にサインをすると3000タイバーツの商品券がもらえた。以前は抽選会などがあって純金のネックレスなどの賞品が振る舞われたこともあったが、これはタイでよくある手法で「ボーナス代わり」である。タイの会社員・公務員の間でボーナスは一般的なものではない。もらえるのはせいぜい外資系企業と業績の良い企業のみで、私の知っている限り、私立大学も国公立大学もボーナスを支給しているという話は聞いたことがない。

会の始まりは、ランサン学長からの簡単な挨拶で、その後は各学部・部署の今年入職した新人を中心にした舞台でのパフォーマンスが始まる。例えば工学部、情報技術学部、経営学部の新人教員による踊りなどである。一通り各部署からの企画



クリスマス飾りが施された校舎でイベントを行う学生



クリスマス飾りの前で写真を撮る  
工学部の先生たち



校内に作られた忘年会会場

が終わったら、有志によるカラオケ大会が21時頃まで続き、解散となった。なお、大学校内で行う忘年会なので、アルコール類は一切なしである。それでもこれだけノリノリで盛り上がるのはタイならではと言える。

ちなみにタイでは忘年会に限らず、宴会の場で大っぴらにお酒が振舞われることはあまりない。主に中流階級以上の人が集まる場では、人前で酔っばらう、その結果大声を出して騒いだりすることが、他人への配慮に欠ける恥ずべき行為と思われるからだ。だから年末とはいえ、日本のように電車や駅で醜態を晒している人を見かけることもない。もちろんお酒を飲むのが目的の“場”では話は別だが…。

2007年の開学以来、入学者が1300人を超えた時期もあったが2024年の入学者は1000人でここ数年は変わらず落ち着いている。一方で、2024年に新たに開設された「グローバルコミュニケーション学部」は、当初1クラス(40人)でのスタート予定が希望者多数で2クラス(88人)でのスタートとなり、上場の船出となった。

忘年会で着飾った職員と先生がた



私が所属する学生募集センターでは、タイの高校生を日本に引率し、日本の高校生と交流を行ってもらうなど、タイ日双方の高校との繋がりが深まる年となった。

2025年には新たな学部である Faculty of Digital Technology and Industry の開設が控えている。日本とタイの友好をベースにした大学は、さらなる発展をしていくものと期待している。

水谷光一（みずたにこういち） 1990～1996年 TPA で非常勤講師、1996～1999年 渉外課長。1999～2004年 ABK 勤務。2007年から泰日工業大学（TNI）勤務。



奨学金情報

奨学金情報はJapan Study Support (JPSS) webサイトで検索いただけます。  
募集の詳細については必ず各実施団体のホームページ等でご確認ください。

公益財団法人 岡本国際奨学交流財団 外国人留学生奨学金

■主な応募資格

- ①千葉県内の大学に在籍するか、千葉県内に居住し隣接都県の大学に通う、私費外国人留学生。
- ②大学学部3、4年生もしくは大学院生。(短期大学は不可) ※研究生の場合、4月に修士あるいは博士課程に進学することが確定していれば応募できる。
- ③年額600,000円を超える助成を受けていない。(他財団、団体、大学などから)
- ④毎月の例会に出席できること。

■支給金額 月額80,000円

■支給期間 原則として2025年4月から2026年3月までの12ヶ月間(審査の上、1年間上限の継続支給あり)

- 募集人数 若干名
- 応募方法 WEB申請、郵送、持参可
- 応募締切 2025年1月31日(金) 必着
- 主催者連絡先  
千葉市稲毛区緑町1-19-11

TEL 043-248-8808

Email osf-midori1911@coda.ocn.ne.jp

Web <https://www.osf-family.com>

株式会社 共立メンテナンス奨学基金奨学金

■主な応募資格

- ①以下の国・地域から来日している私費留学生  
大韓民国、中華人民共和国、台湾、香港、マカオ、モンゴル、ベトナム、ラオス、カンボジア、タイ、ミャンマー、マレーシア、シンガポール、インドネシア、フィリピン、インド、スリランカ、パキスタン、バングラデシュ、ネパール、ブータン、東ティモール、ブルネイ、モルディブ
- ②奨学金対象校である大学(短期大学)、専門学校、日本語学校に在籍する者

■支給金額 月額60,000円

■支給期間 2025年4月から1年間

■採用人数 30名

■応募方法 奨学金対象校である学校を通して応募する(学校推薦)

■応募締切 1月31日(金) 必着

■主催者WEBサイト

<https://www.kif-org.com>

公益財団法人 インナートリップ国際交流協会 奨学金給付外国人留学生

■主な応募資格
① 首都圏の大学(学部・大学院)に在籍している外国人留学生(※在留資格「留学」のみ)。また聴講生及び研修生は含まれない。
② 2025年4月1日現在、学部生は3年次以上に在籍し30歳以下、大学院生は修士・博士課程に在籍し35歳以下
③ アジア(東南アジア・南アジア・中央アジア・西アジア及びモンゴル・台湾・香港・マカオ)、及び中南米(ラテンアメリカ)諸国・地域の国籍を有する
④ 学長及びこれに準ずる代表者(総長・理事長等)の推薦
⑤ 「奨学生定例会」への出席が可能
⑥ 日本語での円滑な意思疎通が可能
⑦ 他

団体等からの奨学金重複受給可(※限度額5万円)
■支給金額 月額50,000円
■支給期間 2025年4月から最長2年間
■募集人数 8名程度
■応募方法 学校を通じて
■応募締切 2025年2月28日(金)
■主催者連絡先
東京都港区麻布台1丁目9番8号
Tel 03-3585-2533
Email info@itf.or.jp
Web http://www.itf.or.jp

公益財団法人 佐藤陽国際奨学財団 私費留学奨学生 募集要項(秋募集)

ASEAN 諸国及び南西アジアから日本の大学に留学している学生で、当財団の条件を満たす者を対象とします。募集要項や応募方法については当財団のホームページをご覧ください。

■給付金額 (学部学生) 月額15万円、(大学院生) 月額18万円(他に授業料補助制度、学会出席補助金制度あり)
■給付期間 ① 2021年10月から2023年9月までの2年間 ② 2022年4月から2024年3月までの2年間(ただし、採用時の課程修了までの標

準修業年限とする。)
■募集人数 約15名
■主催者連絡先
〒108-0023 東京都港区芝浦3丁目1番1号
田町ステーションタワーN 公益財団法人佐藤陽国際奨学財団事務局
TEL 03-6435-3388
Email sisf@sato-global.com
Web http://www.sisf.or.jp

イベント情報

国際協力のお祭り 第32回 ワン・ワールド・フェスティバル ONE WORLD FESTIVAL

2025年2月8日(Sat) 10:00~17:00、2月9日(Sun) 10:00~16:30

会場 梅田スカイビル(大阪市北区大淀中1-1-88) 入場無料

ワン・ワールド・フェスティバルは1993年から毎年開催している西日本最大の国際協力・交流のお祭りです。市民に広く国際協力の大切さを認識してもらい、活動に参加する機会を提供しようと、関西を中心に国際協力・交流に関わるNPO/NGO、政府機関、国際機関、教育機関、自治体、企業

などが協力して開催しています。

主催：ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会 URL <https://onefes.net/>

問合せ：特定非営利活動法人関西国際交流団体協議会

TEL 06-6777-1039 URL <https://www.interpeople.or.jp/index.html>

### 外国人留学生とメーカー経営者の就職特別選考会「社長LIVE 2026」

2025年3月12日(水) 13:30～17:00

第一部：海外営業・国際業務の求人企業 9:30～12:30

第二部：エンジニア・技術職の求人企業 14:00～17:00

対象：2025年4月～2026年3月卒業見込の外国人留学生

場所：WEB開催（Zoom使用）※参加が決まった留学生にはメールでログイン情報をお伝えします。

定員：第一部60名、第二部40名限定（電話面接に合格した人だけが参加できます）

主催・参加企業等：ASIA Link <https://www.asialinkryunavi.com> ☎042-312-1074

# MEMBERS

〈会費とご寄附の報告〉

## 2024年7月

### 賛助会員

(1口)  
雅留宮 澄子 野田市

### 正会員

(2口)  
池森 亨介 宇都宮市

(1口)  
大田原 康彦 / 真澄 仙台市  
松岡 弘 相模原市  
井上 美和子 文京区  
大杉 立 つくば市  
大越 英男 仙台市  
橋本 イスラム ヌルール 坂戸市  
松浦 吉秀 川口市  
有朋堂針灸院 仙台市  
関 正昭 鹿児島市

### ご寄附

池森 亨介 宇都宮市  
大田原 康彦 / 真澄 仙台市  
外山 経子 八王子市  
酒井 杏郎 渋谷区

## 2024年8月

### 特別会員

(3口)  
(一財) 海外産業人材育成協会 足立区

### 賛助会員

(1口)  
(株) 日吉 近江八幡市

### 正会員

(2口)  
石川 毅 / 優子 北区  
米田 康三 浦安市

(1口)  
大島 京子 秦野市  
山本 章治 横浜市  
中野 恵太 国立市  
出澤 正徳 鶴ヶ島市

### ご寄附

元全日本リクシャーマン協会有志 川口市  
小山 富士夫 市川市  
山口 憲明 日野市  
飯沼 英郎 横浜市  
山本 章治 横浜市  
井上 駿 さいたま市

## 2024年9月

### 特別会員

(1口)  
今西 淳子 文京区

### 賛助会員

(1口)  
雅留宮 澄子 野田市  
亜細亜大学 武蔵野市

### 正会員

(1口)  
小倉 美恵子 川崎市  
鶴田 純一 / 由美 千葉市  
竹熊 尚夫 福岡市  
寺尾 方孝 / 三枝子 国分寺市  
中野 豪夫 文京区  
織田 雄一 千葉市

### ご寄附

鶴田 純一 / 由美 千葉市  
岡崎 尚弘 新座市  
根岸 幸子 逗子市

皆様の温かいご支援に  
感謝申し上げます

## ご入会とご寄付のお願い

当協会は、政府の補助金を受けていない純民間運営の公益法人ですので、財源に限りがあり、皆様方からお送りいただく会費、寄付金は、本協会の活動を支える貴重な財源となっています。何卒ご理解、ご協力をお願い致します。

## 協会のあらまし

名称：公益財団法人 アジア学生文化協会

ASIAN STUDENTS CULTURAL ASSOCIATION (ASCA)

所在地：東京都文京区本駒込 2丁目 12番地 13号

代表者：理事長 白石勝己

設立：1957年（昭和32年）9月18日

故穂積五一氏創設

目的：日本とアジア諸国の青年学生が共同生活を通じて、人間的和合と学術、文化および経済の交流をはかることにより、アジアの親善と世界の平和に貢献することを目的とする。

## ◇ 主な事業 ◇

- (1) 留学生宿舎の運営
- (2) 留学生日本語コースの運営（進学希望者向けの日本語を中心とする教育）
- (3) 留学生に対する情報提供支援
- (4) アジア語学セミナー
- (5) 帰国留学生のアジア文化会館同窓会、(一社)日・タイ経済協力協会、ABK 留学生友の会との連携・協力

## ◇ 会費（年額） ◇

正会員 1口 1万円

賛助会員 1口 5万円

特別会員 1口 10万円

会員には広報誌「アジアの友」が無料配布されます。また、広報誌購入だけを希望される方には、購読料年間2千円（＋税）でお送りいたします。

当財団に対する寄附金は、所得税、一部自治体の個人住民税、相続税、及び法人税の税制上の優遇措置があります。

## 巻末言

- 2024年を個人的に振り返ることを許してほしい。夏に親しい知人から突然「フィンランドに行こう」と誘われた。現在はロシア上空を通る最短経路（飛行時間9時間）は使えず、アラスカ、ベーリング海、北極経由でヘルシンキまで行くので13時間かかる。おかげで、FINN AIRから「北極点通過証明書」をもらうことができた。
- ヘルシンキでは、観光の定番であるヘルシンキ大聖堂や、電車とバスで2時間ほどのところにある「ヌクーシオ国立公園」に行き、これぞフィンランドというべきひんやりした透明な空気、青い空と白い雲を映す美しい湖と、緑深い森の中を散策し、焚火サイドで小枝にマッシュマロを刺して「焼きマッシュマロ」を食したりした。
- この旅行の中でも印象深かったのは、ヘルシンキ駅の東側に隣接するヘルシンキ中央図書館「オーディ（Oodi）」で、世界図書館情報会議2019年の「Public Library of the Year」に選出されている。外装は木を用いた優美な曲線で、3階建ての広々とした建物全体を覆っている。1階はカフェ、映画館、イベントホールなど。ガラス製のチェス盤の机がいくつも並んでいる。2階は音楽室、調理室、ゲーム室、裁縫室、談話室、会議室、PCルームが並び仕事や趣味などグループワークや個人利用できる空間である。
- 3階が「本の楽園」で、低い開架式の書棚と洒落たイスやデスクが配置され、一面ガラスの窓際には日光浴をする人たちが午睡を楽しんでいたりする。その「本の楽園」の一系列全部が「MANGA」分類になっていて、私でも知っている「ドラゴンボール」や「ナルト」、「進撃の巨人」のシリーズがずらっと並んでいた。
- 10歳くらいの女の子が2人「ワンピース」の30巻～40巻くらいまでを探しているというので、手伝ってあげた。多分、すべてフィンランド語に翻訳されているのだろう。年齢に関係なく「MANGA」コーナーが一番のにぎわいで、ここまで来て日本の「MANGA」の文化力に思いを馳せることになるとは思わなかった。世界で「MANGA」は「たかがマンガ、されどマンガ」などと言うレベルは、はるかに飛び越している存在になっていると実感した旅だった。（白）

## アジアの友 2024年10-12月号

2024年12月20日発行（通刊第560号）

年間購読（送料共）2,000円＋税 1部500円＋税

発行人 白石勝己

編集 アジアの友編集部

発行所 公益財団法人 アジア学生文化協会

東京都文京区本駒込2—12—13（113-8642）

電話番号：03-3946-4121 ファクシミリ：03-3946-7599

振替口座：00150-0-56754 E-mail：tomo@abk.or.jp

ホームページ：(http://www.abk.or.jp/)

published by THE ASIANSTUDENTS CULTURAL ASSOCIATION  
(ASIA BUNKA KAIKAN)

2-12-13, Honkomagome, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8642, JAPAN

☎ +81-3-3946-4121 FAX +81-3-3946-7599

Email：tomo@abk.or.jp Home Page：http://www.abk.or.jp/

会員並びにご購読のお申込みはメール・電話にてお願いいたします。



学校法人 ABK 学館

# ABK学館日本語学校

所在地 〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-12-12

電話番号 +81-3-6912-0756

FAX +81-3-6912-0757

URL <http://abk.ac.jp>

E-mail [info@abk.ac.jp](mailto:info@abk.ac.jp)



**ABK**  
COLLEGE

3階建て校舎。  
最新の耐震設計です。

## - 留学生の絆が作る日本語学校 -

ABK学館日本語学校（英語名称：ABK COLLEGE）は1957年に設立された公益財団法人アジア学生文化協会で寮生活や日本語を学習した留学生、そして多くの関係者のご寄付と献身的な協力により、学校法人による日本語学校として2014年4月に開校しました。2023年には開校10周年を迎え、アジア各国の留学生を中心とした様々な国の方が在籍しています。



授業風景イメージ



寮の一例



アジア学生文化協会

ABK COLLEGE

一般課程 (進学・就職・生活・資格取得 等)			
	4月入学 1年コース	10月入学 1年半コース	4月入学 2年コース
授業時間	860時間	1,290時間	1,720時間
入学検定料	20,000円		
入学金	100,000円		
授業料 (施設・教材費含む)	640,000円	960,000円	1,280,000円
学歴補充課程 (文部科学省認定 準備教育課程)			
	4月入学 1年コース	10月入学 1年半コース	
授業時間	860時間(日本語) +120時間(基礎科目)	1290時間(日本語) +120時間(基礎科目)	
入学検定料	20,000円		
入学金	100,000円		
授業料 (施設・教材費含む)	720,000円	1,080,000円	

